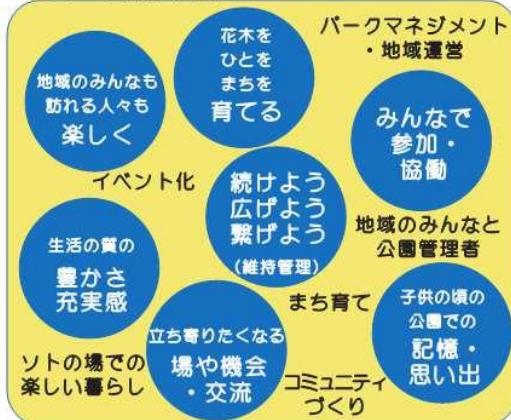


企画の紹介・コンセプト

普段の暮らしの中にみどりの香りがあること、子供にとっても大人にとってもそれは日常生活の豊さや心身の健康増進、地域コミュニティでの楽しい繋がりを生み出すと考えます。北久里浜の地域住民にとって身近な根岸交通公園を、香りのまちづくりのきっかけを與すアクションエリアに位置づけ、隣接する根岸第3公園や平作川一帯の公共空間を連携させて一体的に価値を高めるまちづくりに展開させていく計画です。



企画の狙い

周辺エリアを含めて全体構想を考えます

交通公園内の植栽スペースを「香りづくり」のアクションエリアとして活動のきっかけをつくり、周辺の公共空間へと広げ、**一體的な「街づくり」に繋げること**を狙いとしています。

公共空間の活用によるまち育てと、主体的かつ持続的な維持管理を目指します

この一帯は普段使いの公共のオープンスペースであり、**コミュニティの協働**により**価値あるものに仕立てる**きっかけや関連性を香りづくり活動に絡めます。

既成市街地にある公共空間は、これからは**より良く「育てる」**ことが大切と考えます。**住民が身近な生活圏**でその空間を楽しく使いながら今後もより良い環境づくりに参画できるよう、協議会が主体となって公園管理者や他団体等と協力して、**香りづくりへの関心を高める活動内容**や**維持管理体制**を整えます。

企画名

みどりの香りでまち育て
みんな、北久里浜においてよ！

企画申請団体

北久里浜まちづくり協議会

企画協力団体

(一財)シティサポートよこすか



候補地① 当地を発信拠点として活動のきっかけをつくり、自然とのふれあい、学びや遊び、地域交流を通して香りづくりとコミュニティづくりを図ります

候補地③ 自転車に乗りながら、また歩きながら香りを感じることのできる沿道空間



●対象地の紹介と応募にあたって

京急北久里浜駅前から北西におよそ500m、「キタクリ」商店街の愛称で地元の人々に親しまれている商店街と住宅街に近接したエリアに今回の企画場所「根岸交通公園」はあります。三浦半島唯一の交通公園として、広域から学童が訪れ、遊びの中で交通ルールを学習する場となっています。隣接する根岸第3公園とともに近所の保育園の園児にとっては大好きな遊び場です。

また桜の名所としても知られており多くの市民がお花見に訪れるほか、園内は車の往来がなく、ベビーカーや小さな子供連れの親子、お年寄りも安全に歩くことができ、お孫さん世代とひとときを過ごすシーンが日常的に見られる公園でもあります。

このエリア一帯では、かねてより商店街振興組合を中心に、桜まつりの開催や商店街の環境整備を行うなど活発にまちづくり活動に取り組んでいます。平成8年4月に、「北久里浜まちづくり協議会」を結成し、周辺の町会などコミュニティが一体となって共に住みよいまち、活気あるまちづくりを目指しています。なかでも花を育て、地域環境を向上させる取り組みは日頃から当協議会メンバーを中心に行われており、今回の応募は2年間かけて企画内容や体制づくりの検討を重ねてきました。草花を植え花を咲かせることは、地域の皆さんと交流し、歓談し、育てるなどを通じてまちづくりに参加し、ふれあいのまち、安全なまちにしていきたいとの思いで協議会・専門部会を運営しています。

根岸交通公園は指定管理者を置いているので安心して利用できる場です。当協議会が推進する「みどり香るまちづくり」はそこを活動拠点に、周辺地域に拡げていきます。

アピールポイント -香りづくりの価値づけ

交通公園、第3公園、平作川の堤などの連続した緑豊かな公共空間の存在とそこが常に香りに包まれている、それは普段の身近な生活中で人々へ心地良さを与え、幸せな気持ちや充足感、活動の場として機能します。

花や樹木の香りは、ふるさと北久里浜の花咲く景色を思い起こさせてくれ、地域との繋がりを強く意識させます。

今企画では、ハマユウ、ヤマユリやスイセンなど懐かしい香りや季節の香りが「香りの風景」をつくり、「香りの記憶づくり」となります。

既存樹のある空間に新たな「みどりの香り」を加え、人々が香りに誘われ屋外に集い、楽しむ機会を提供します。

從来からの桜まつりをはじめ、ハーブを用いたフェスティバル、どんぐり拾いなどゾーンごとに異なる「香りの楽しみ方」でこれまでのイベントノウハウを交流活動につなげます。

協議会と指定管理者との協働により、地域の園児・学童・生徒などの参加を活発にし継承者を育てます。花植えや花をさらに楽しむなどをテーマとした講座やイベントなどで地域の人々も参加しやすいように工夫します。

多様な人々が集まり、交流し、歓談し、花づくりを通してまちづくりに参加することは、ふれあいのまち・安全なまちが実現すること。公共性の価値そのものと考えます。

持続的な管理（活動・体制）

地域コミュニティの協働・連携、効果的な公共資産の活用

当協議会は花づくりの実績と人材を備えています。専門部会会員には農業を営んでいる人々、ボランティアとして日頃から地域の花づくりに参加している人が多くいます。今回はそれらの会員が中心になって管理します。また、近接する小学校は課外活動として学童が参加することとなっています。花づくりを通して地域の大人たちと交流し、花育ての難しさや楽しさを経験し、地元での思い出づくりを通して地域への帰属、愛着を育み、やがてその中から花づくりを含めたコミュニティの担い手が育っていくことが期待されます。この地域の市立大津中学校の園芸クラブは、本格的協働メンバーとして力強い存在です。



樹木・草花の配置イメージ及び完成予想図



植栽配置の考え方 -四季を通じた彩りと香りデザイン

イーストガーデン ~春から夏へ~

冬に香りを楽しませてくれたスイセンが咲き終わる頃、ウメが春の訪れを告げ、ジンショウウゲの香りが命の息吹を届けてくれます。サクラの下での桜まつりにみんなが集い、足もとのハーブの芽吹きからは北久里浜の初夏の足音が…。

みんな、ハーブフェスティバルにおいてよ！

今企画の香りづくりの発信拠点として位置づけ、四季を通じて香りの花々が楽しめる空間とします。

シダレザクラやツツジ、シャリソバなどの既存樹を生かしながら、香りの低木類とあわせて足元には香りの草花（ハーブ類等）を植栽。

人々の憩いの場としての機能を高めるため、パークளにつる性バラなどを植樹して緑陰を確保、また③との間の小径は香りの道とし、遊歩して散歩を楽しんだり四阿で憩う人々の姿がいつもある、香りに包まれる空間づくりを行います。



2 センターガーデン ~秋、そして冬~

キンモクセイの香りに包まれた秋、どんぐり拾いは子供たちの秋のお祭り。ちょっと寒い冬に備えてクリスマスローズも植えましょう。そろそろ年の瀬を感じる頃、クリスマスローズがお迎えってくれます。

みんな、外に出ておいでよ！

公園正面入口から最も近く、多くの人が目にする場所。

マテバシイの木の下は公園管理者と一緒に花壇づくりを行います。

芳香性の強いキンモクセイを周囲に植樹し、香り空間を生み出すとともに、クリスマスローズで、寂しくなりがちな季節に彩りを提供します。

樹種
●スイセン (12-4) 250
●カラライナジャスマシン (2-4) 40
○ティカカズラ (5-6) 30
○ヤマユリ (6-8) 60
○ハマユウ (7-9) 15

() 円括弧内は開花月
赤文字は樹木等の使用本(株)数
*印は、香りは特にないが群生する
と美しいもの、芝生地に適しているもの、花期の長いもの等を選定